

平成28年度「卒業生と語る会」の感想

- 7名の先輩が共通して行っていたことは「自分の勉強法を見つけて実施する」ことでした。それぞれノートを作ったり、シャドーティーチングをしたり、勉強する時間帯を変えたりと自分の特徴をよく理解した上で自分にあった勉強の仕方を見つけていたので私もいろいろと試してみようと思います。
- 今回の講義で私はたくさんの発見がありました。その一つは短期的な目標を立てるということです。
- 私立大学に進学した先輩が多く、自分には関係ないのではと聞いていたけど、今日の話聞いて、国公立も私立も関係ないとわかりました。勉強スタイルはまだ自分は確立できていないので、まずは自分に合った生活のリズムを身につけるべきだと思った。
- 今日の講演で自分の中の意識が大きく変わりました。「勉強しなきゃ」ではなく「勉強したい」と思うようになりました。
- 「今」できる勉強は「今」する。本当に大切なことだと思った。「頭ではわかっているけど行動に移すのが困難。そしてそのまま放置」という悪い習慣。モチベーションが下がりそうなときはオープンキャンパスや大学の文化祭を訪れたり、自分でどんどん行動していこうと思う。
- ある先輩は「第1志望の大学を挑戦したくても出来なかった。」とおっしゃっていた。自分も来年そのような挫折をしないためにも、今から少しずつでも、勉強をしない日を作らないようにし、来年笑って卒業が出来るようにしたいです。
- 私は部活動をやっていないので時間は他の人よりありますが、毎日生活している中で無駄にしていると感じる時がとても多いので、もっと有効活用しようと思いました。ある先輩がおっしゃっていた「夢が見つかった時のために勉強する。」という言葉は、今やるべきことを一生懸命やろうと思えるきっかけになりました。
- 卒業生の方々から話を聞いて心に響いたことは「浪人は絶対にしちゃダメだ」と「勉強のストレスが辛いと思っても、周りはどんどん上がっていくので勉強をやらざるを得ない」です。私は最後まで勝負を諦めないこと、ちょっとしたスキマ時間も有効に利用することを学ぶことが出来ました。
- 大学進学後については、アパートに住んでいる人が多かったので、仕送りをどれくらい送ってもらっているのか、アルバイトは週どれくらい行っているか、家賃はどれくらいかなど、大学の情報以外のことを聞いて、進路についてはもっと調べて考えなくてはならないと思いました。
- 受験では何が起こるかわかりません。模試ではA判定だった大学に落ちてしまったけど、繰り上げ合格した先輩もいて、最後まで諦めないことが大切だと思いました。
- 睡魔に勝つにはとりあえず手を動かすことが有効と聞き、ノートを書きまくるようにする。生活リズムをだいたい同じようにすることで計画的に行う大切を学べた。